

妖怪の理 妖怪の檻



[妖怪の理 妖怪の檻 下载链接1](#)

著者:京極夏彦

出版者:角川書店

出版时间:2011-7

装帧:文庫版

isbn:9784043620104

小説や映画など、いたるところで活躍し、人々に親しまれるようになった“妖怪”。知っているようで、何だかよくわからないこの存在は、いつ、どうやってこの世に現れたのだろうか？ 妖怪を愛し、数多くの妖怪小説を生み出してきた著者が、深く愉しく、縦横無尽に「“妖怪”とは何なのか？」を解き明かす。そして辿り着いた答えとは一。すべての妖怪好きに贈る、妖怪をもっと愉しむための、画期的妖怪解体新書。

作者介绍:

京極 夏彦

小説家、意匠家。1963年北海道生まれ。94年、かねてよりアイデアを温めていた妖怪小説『姑獲鳥の夏』で小説家デビュー。『魍魎の匣』で第49回日本推理作家協会賞、『嗤う伊右衛門』で第25回泉鏡花文学賞、『覘き小平次』で第16回山本周五郎賞、『後巷説百物語』で第130回直木賞を受賞

※本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです

目録: 妖怪のことを考える前に（“妖怪”ブームはあったのか
“妖怪”的なモノゴトとは何か）
妖怪という言葉について（学問の言葉を巡って
黄表紙を巡って ほか）
妖怪のなりたちについて（水木しげるの登場
通俗的妖怪の完成 ほか）
妖怪の形について（受け継がれるスタイル
伝えられるもの、創られるもの ほか）
講演録通俗的妖怪と近代的怪異（ヌリカベを例にして—民俗学的妖怪
小松「妖怪学」の妖怪と通俗的妖怪 ほか）
妖怪のことを考えているうちに
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[妖怪の理 妖怪の檻 下载链接1](#)

标签

京極夏彦

日本文学

日文原文

文库

小说之海

妖怪

京極夏彦

京极夏彦

评论

妖怪の理 妖怪の檻 [下载链接1](#)

书评

本书收录了连载在杂志<怪>上<妖怪の理 妖怪の檻>栏目中第一回到第十回的文章。作者比较了日本各个时期对“妖怪”的认识、概念。并通过比较各时期对“妖怪”的认识，描述了“妖怪”概念的发展，界定了各时期妖怪的范围，渐渐探讨出了现代“妖怪”这一概念的范围。因为是好几年...

妖怪の理 妖怪の檻 [下载链接1](#)